

**函館市地域支えあい推進協議体 平成28年度 第4回会議
会議概要**

■ **日 時**

平成29年2月6日（月） 18時30分～20時00分

■ **場 所**

函館市役所8階 第1会議室

■ **議 事**

報 告

(1) みんなで支え合うまちづくりフォーラムの開催結果について

議 事

(1) 訪問型サービスA従事者養成研修について

(2) 暮らしのサポーター養成研修（2回目）について

その他

- ・ 平成29年度の生活支援体制整備事業について

■ **配付資料**

- ・ 資料1 みんなで支え合うまちづくりフォーラムの開催結果について
 - ・ 基調講演 「地域における支え合いの重要性について」
 - ・ 事例紹介1 「万代町でのサロン活動について」
 - ・ 事例紹介2 「シニアサロンクローバーの活動について」
 - ・ グループワーク結果
 - ・ アンケート結果
- ・ 資料2 訪問型サービスA従事者養成研修について
- ・ 資料3 暮らしのサポーター養成研修（2回目）について
- ・ 資料4 次回スケジュール確認票

■ **出席委員（9名）**

池田委員，所委員，渡邊委員，佐々木委員，阿知波委員，永澤委員，能川委員，林委員，丸藤委員

■ **傍 聴 なし**

■ **報道機関 1名**

■ **市職員**

高齢福祉課 佐藤課長，塚本主査，相澤主査，田畑主任主事

■ 会議要旨

池田会長

報告(1)「みんなで支え合うまちづくりフォーラムの開催結果について」、市から説明願いたい。

相澤主査

(資料1「みんなで支え合うまちづくりフォーラムの開催結果について」に基づき説明)

※説明要旨

- ・ アンケートの結果では、服部氏の基調講演と永澤委員・クローバーのお二方の事例紹介について、いずれもわかりやすい説明で、大変参考になったという意見が多かったことから、説明された方それぞれの内容や気持ちが的確に伝わったものと考えている。
- ・ 地域包括支援センターに進行・取りまとめをお願いしたグループワークについては、参加者の意見や気持ちを上手く引き出していただけたと感じている。
- ・ 「地域での活動や取組があってもあまり知られていない」という意見が、多くのグループで共通していた。

池田会長

事務局から説明があったが、参加した委員から、気が付いた点や改善点等の意見があれば聞かせてほしい。丸藤委員何かあるか。

丸藤委員

服部さんの話は分かりやすいので、第2層の本格開始の際や、コーディネーターのスキルアップを行う際にはぜひ継続的に講師として来ていただけると力強いのではないかと思う。

また、グループワークでは良い発表が多かったので、結果を今後の業務に生かしたい。開催時期について今回冬の開催であったため、当日は吹雪いており、交通リスクも高くなったことから、次の機会にはもう少し温かい時期に開催したいという点が改善点になると思う。

池田会長

今回は初めてなので、次回行う場合は改善してほしい。阿知波委員何かあるか。

阿知波委員

人数が64名であり、グループワークを行うには良い人数であったと思う。このような活動を、今後市内で展開していくことになるが、取組が周知しきれていない部分もあるので、その点は改善しなければならない。

池田会長

取組の周知については、頑張っていかなければならない。永澤委員何かあるか。

永澤委員

私は発表の場をいただいたが、発表時間が短かったので、もう少し時間が欲し

かった。名刺交換した参加者から連絡をいただき、もう少し話を聞きたいので、このような機会があれば連絡が欲しい、また、自分の町会でも同じようなことができるのかという問い合わせをいただいた。このような繋がりもできたことから、開催して良かったと思っている。

池田会長

能川委員何かあるか。

能川委員

最後に質疑応答があったが、大勢の参加者から注目を浴びるあの場ではなかなか質問しにくいので、グループワークの際に、自分が分からなかった点等を服部さんに聞く時間を30分でもつくっていただければと思った。

私の高齢者の会でも総合事業について、疑問や不満を持っている方も多い。男性陣に多いが、公的事業をなぜボランティアに押し付けるのかと思っている方がいる。このような方に服部さんの話を聞いていただき、内容を理解していただきたかった。

池田会長

いくつか改善点が出てきた。開催時期に関する事、グループワークの中で基調講演に関する質疑の時間を設けることができれば、意見も出しやすくなる点、また、この広がりはどうすればよいかという点である。

佐藤課長何かあるか。

佐藤課長

私グループワークは苦手だが、今回はすんなり入れた。来年度の開催は考えていなかったが、第2層協議体が10か所できることから、各第2層において、包括と地域住民10人程度で合計100人、この規模で何かできるのではないかと思う。市民向けが一番かもしれないが、このようなかたちでざっくりやるのも1つかと思った。

池田会長

渡邊委員どうか。

渡邊委員

まさに包括は第2層として何をしていけばよいかと考えているが、具体的な方向性が見えてこない。それぞれの圏域の課題や社会資源があると思うので、その情報を持ち寄ることが必要になるのではないかと思う。

今回のフォーラムで出た、「いいね」という意見等をいかに吸い上げ、情報を整理し、包括が活用できるような形にすることが必要になる。

また、総合事業が始まった後でも、振り返りの場面で、また服部さんの話を聞く機会があれば、ありがたいと思う。

池田会長

すごく良い意見だった。先ほどの課長の意見と今の意見を合わせれば、良い方向に行くのではないかと思う。せっかくここまで来たので、取組に広がりを持た

せていきたい。今回色々出た意見等を市の方で整理してほしい。

相澤主査

皆さんの意見を聞きながら、今後の業務に取り入れていきたい。

池田会長

それでは次に議事（１）「訪問型サービスA従事者養成研修について」、市から説明願いたい。

相澤主査

(資料２「訪問型サービスA従事者養成研修について」に基づき説明)

※説明要旨

- ・ 申込者数20人のうち、最終的に17名の方が修了した。
- ・ 今後も訪問型サービスAに参入する事業所の状況を踏まえながら継続的に実施し、介護人材のすそ野を広げていきたい。
- ・ 修了者にはA4版の修了証およびカード型の修了証を交付している。

池田会長

カリキュラムの演習について、現地集合のはずなのに、そう思わなかった参加者がいたのか。

相澤主査

現地集合となるので、移動については各自で対応する旨、研修の中で説明したが、車の免許を持っていないため、市で対応してほしいという方が、ごく一部いた。

佐藤課長

言葉は悪いかもしれないが、お客様感覚の方がいたと、ヘルパー連絡協議会の酒井会長から伺っていた。研修に関し、受講料を設けることにより、意識が高い受講生を確保できるのではないかと意見もいただいた。

しかしながら、市としては、受講の敷居は低くしたいと考えており、演習先への交通費は自己負担であると募集要項に明記して対応したいと考えている。市として金銭の徴収は難しい面がある。

池田会長

色々な人がいると思うが、お客さん感覚で来られるのは困る。

佐藤課長

熱心だった方は非常に積極的だったと聞いている。また、男性は人数が少なかったが、自らよく動いていたと伺っている。

池田会長

目的をしっかりとってない方がいたのでは。

佐藤課長

受講生へ制度の説明はしているが、目的がぼやっとしてしまった部分もあった。次回募集するタイミングで、訪問Aの実際の取組について新聞記事にさせていただき、内容を周知したいと考えている。

所委員

男性が熱心とのことだが、男性の割合はどの程度だったのか。また、年代的にはどのような年代か。

佐藤課長

男性は4, 5人で、60代の方が多かった。

所委員

我々も先日の説明会で、ようやく総合事業について分かり始めた。もしかすると研修を受けられた方は訪問Aの業務について、良く分からない方もいたのではないか。

池田会長

お客さん感覚で来られる人がいるということは、研修の目的を分かっていないということになる。

丸藤委員

函館の風土に合わないかもしれないが、参考として、神戸では、まず受講希望者1人1人と面談をし、誤解している部分があれば、それを解消する。さらに、研修終了後も個々に面談をし、誤解が無いか確認する体制をとっていると聞いている。

渡邊委員

くらしのサポーター養成研修と訪問型サービスA従事者養成研修の違いを分かっていない方がいたかもしれない。先だって高齢者大学で説明させていただいたが、元気な高齢者が約120名いらっしやった。このような場所で、各研修のPRを行えば良いのではないか。3分の2はやる気のある方だと思う。

池田会長

いい意見ではないか。訪問Aについて強く周知していかなければならないので、そのような場を活用すればいい。

佐藤課長

授業を担当することになると、120分程度与えられることになる。介護保険制度と合わせたPRはできるかもしれない。かなり前からカリキュラムを組むようであるので、くらしのサポーターや訪問Aの研修についての部分だけでも周知することができないか、当たってみたい。

池田会長

良いアイデアであった。出た意見を参考にしてほしい。それでは次に議事(2)「くらしのサポーター養成研修(2回目)について」、市から説明願いたい。

相澤主査

(資料2「くらしのサポーター養成研修(2回目)について」に基づき説明)

※説明要旨

- ・ 今回から、ボランティアポイント制度の説明を設けたほか、介護予防体操の時間を以前の倍程度とした。
- ・ 訪問型サービスA従事者養成研修との混同を避けるため、当研修はボランティアを養成する研修であること、特定のボランティア団体への所属を斡旋するものではないことを、1回目の研修の際に、入念に説明した。
- ・ 今回の申込者数は新規の方が30人、補講の方が5人、計35人である。

池田会長

丸藤委員からくらしのサポーター養成研修に関する北海道新聞の記事が配布されたが、当日の状況について、どうだったか。

丸藤委員

1回目より参加人数は少なかったが、皆熱心に話を聞いており、私も説明させていただいたが、やりやすかった。

阿知波委員

場所はいよる21からまちづくりセンターになったが、これから全市でこの取組を広げることになると、函館はエリアが広いことから、開催場所もいろいろ考えなければならないと思う。

東部地区在住の方の中には、足が無く出たくても出られなかった方がいたと伺っている。

丸藤委員

あいよる21・まちづくりセンターと、開催場所が西部地区に偏っていることから、西部地区以外の交通の便のよさそうな所での開催や、東部地区での開催も考えたい。

池田会長

ある程度人数が入る会場の目星をつけておかなければならない。

永澤委員

参加者募集についての提案であるが、もう少し町会連合会に働きかけてはどうか。前に開催された町会連合への説明会で、町会で総合事業のボランティアに関する業務をやっていかなければならないと説明されたため、まだ誤解している人がいる。町会連合会に働きかけ、制度の趣旨を詳しく説明し、誤解を解き協力を仰ぐ必要があると思う。

渡邊委員

例えば第2層のコーディネーターとして、くらしのサポーターを社会資源として把握する際、各圏域にまんべんなくサポーターがいる状況が大切になる。サポーターがどこから来ているか、包括に情報をいただくと助かる。また、サポーターの所在に偏りが出ないように工夫してほしい。

池田会長

市はどのように広報しているのか。

相澤主査

市のホームページや新聞掲載、各イベント開催時にパンフレットを配布するなどし、周知している。

林委員

うちも会員を集めるのに色々周知するが、新聞への掲載が一番効果的である。町会に周知を依頼したり、各施設にポスターを掲示していただくが、新聞掲載後に人が一番集まる。

高齢者大学の受講生は元気ではあるが、働きたいと思っている方は少ないかもしれない。

町会は月に1回役員会・勉強会をやっているのですが、そのような場で取組をPRすればよいのではないかと。チラシを用意してもらえば、うちの会員900人程度に配付することも可能である。

池田会長

永澤委員からは町会の活用、林委員からは周知方法の話が出たので、参考として、PRを強化し人を集めてほしい。

相澤主査

来年度以降も実施していくため、参加者を集めるハードルが次第に上がっていくと思う。また、開催場所については、分散する方向で検討したい。

林委員

開催の曜日については、平日のみになるのか。どうしても仕事をしている場合、平日だと難しい。土曜・日曜のどちらか一方での開催や、平日だけという事であれば5日にこだわらず、夜間の時間に開催すると、ボランティアに興味のある社会人が参加するのではないかと。

丸藤委員

とりあえず今回は平日開催となっているが、何回も重ねていく中で、土日開催や、集中講座的な研修を考える必要がある。あいよる21やまちづくりセンターだけで開催すると、参加人員の先細りが必ず起こると今話を聞いて思った。

佐々木委員

くらしのサポーター修了生なのかも確認していないため、この成果かどうかは分からないが、私が働いている施設に、ボランティア活動してみたいと連絡してきた方が2人いた。

60代女性の方には年明けから活動していただいている。私はデイサービスで働いて10年になるが、初めての経験である。もしかすると、研修の成果が、地味ではあるが出てきているのかもしれない。

池田会長

うれしい話を聞いた。それではこの件については、出た意見を参考に来年度以降進めてほしい。それでは次にその他「平成29年度の生活支援体制整備事業について」、市から説明願いたい。

相澤主査

(平成29年度の生活支援体制整備事業について説明)

※説明要旨

- ・ 第1層協議体については、年4回の開催を予定している。
- ・ 第2層協議体については、各包括で開催する、地域課題を検討する地域ケア会議を活用しながら随時開催することとし、可能な限り、第1層コーディネーターも参加することで考えている。
- ・ くらしのサポーター養成研修については年3クール、訪問型サービスA従事者養成研修については年2クールの開催を予定している。
- ・ このほか、第1層・第2層コーディネーターのほか、外部講師を招いての研修会兼情報交換会や、第1層・第2層コーディネーターの定期的な連絡会を設けることを考えている。

池田会長

この件について何かあるか。

(特に無し)

では、全体をとおして何かあるか。

(特に無し)

では、これで議事を終了したい。進行を市にお返しする。

田畑主事

これをもって、函館市地域支えあい推進協議体の平成28年度第4回会議を終了する。